

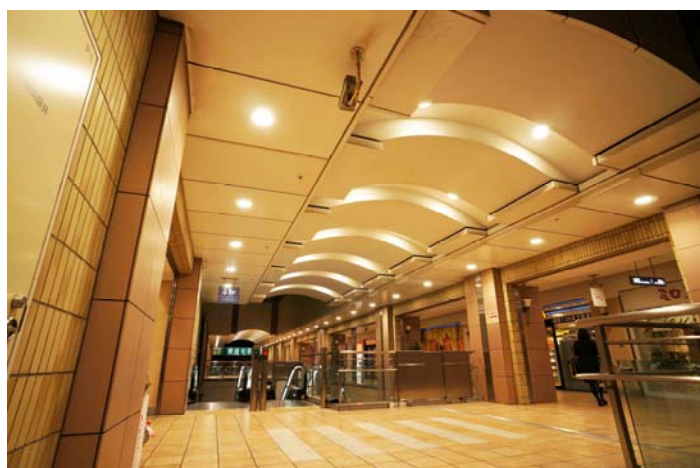
リニューアルにより大幅な省エネと落ち着いた雰囲気を実現



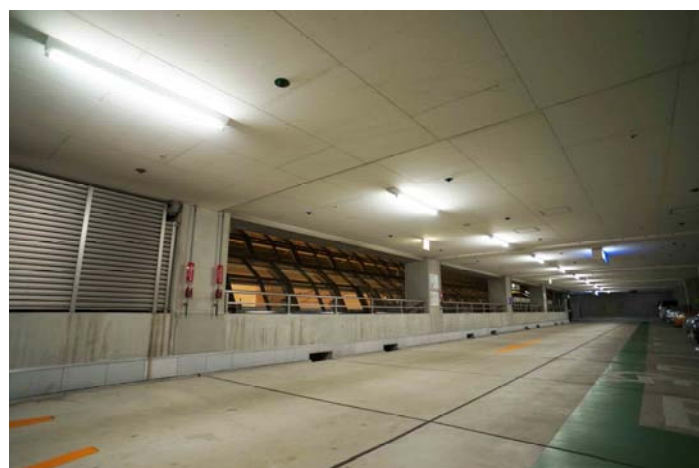
南棟2F入口 軒下用LEDダウンライトにリニューアル
白色4000Kで落ち着いた雰囲気となっています。



南棟2F共用通路 LEDダウンライトにリニューアル
昼間はトップライトにて昼光も入ります。



中央棟2F共用通路 LEDダウンライトにリニューアル
吹抜部分はHID150W相当のLEDダウンライトです。



3F駐車場 逆富士タイプ(直管形LEDランプ搭載ベースライト)にて
リニューアルし、運転に支障のない照度を確保しています。

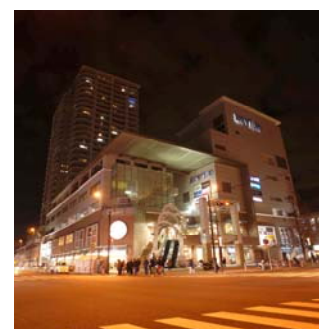
新杉田駅周辺は、横浜市街地から約10kmに位置し、横浜市の「中期政策プラン」において「地域拠点」に位置づけられています。

1987年には杉田・新杉田の両駅前地区を「核」、杉田中央通り地区を「軸」とした「2核1地軸構想」を基に、一つの「核」として新杉田駅前地区第一種市街再開発事業が行なわれ、都市機能の更新を目指して2004年9月29日「らびすた新杉田」がオープンしました。

「Vista」とはイタリア語や英語で「展望・眺望」といった意味を持つ単語です。特に、「美しい景色」「見通しのよい並木道」等を表し、転じて「未来への展望」といった意味で使われる事もあります。

2012年12月に共用通路や軒下、駐車場などを中心に既存の蛍光灯タイプから、LED照明器具へリニューアルしました。これにより計算値で年間電力費用が約55%削減、年間ランニングコストは約70%削減が見込まれ、大幅な省エネを実現しました。

また、色温度は基本的に白色4000Kを選定し、落ち着いた雰囲気としています。



< 主な納入器具 >



・共用通路など
EL-D1427W/3W
AHN
(4000K)
+EL-X0021



・軒下
EL-D1838W/3W
AHN
(4000K)
+EL-X0015



・駐車場
EL-LKV4321A
AHN
(5000K)